

平成 22 年度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

Ⅲ 数 学

注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は 問 6 まであり、1 ページから 6 ページに印刷されています。
- 3 計算は、あいているところを使い、答えは、解答用紙の決められた欄^{らん}に書き入れなさい。
- 4 答えに根号がふくまれるときは、根号の中は最も小さい自然数にきなさい。
また、分母に根号がふくまれるときは、分母に根号をふくまない形にしておきなさい。
- 5 答えが分数になるとき、約分できる場合は約分しておきなさい。
- 6 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番

問1 次の問いに答えなさい。

(ア) $4x^2y^2 \div (-2x^2y) \times 3xy^2$ を計算しなさい。

(イ) $a^2b - ab - 6b$ を因数分解しなさい。

(ウ) 次の連立方程式を解きなさい。

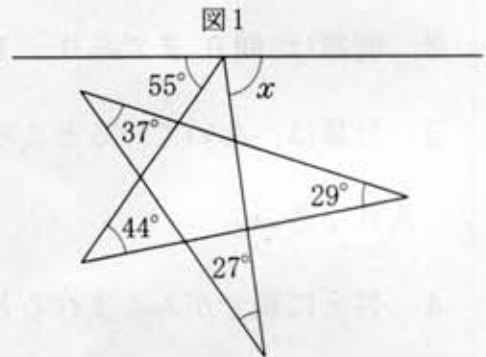
$$\begin{cases} \frac{1}{3}x + \frac{1}{2}y = 1 \\ 2x - 3y = -4 \end{cases}$$

(エ) 2次方程式 $(x+2)(2x-1) = -2(x+1)$ を解きなさい。

(オ) $\left(\frac{\sqrt{6}-\sqrt{3}}{2}\right)^2 - \left(\frac{\sqrt{6}+\sqrt{3}}{2}\right)^2$ を計算しなさい。

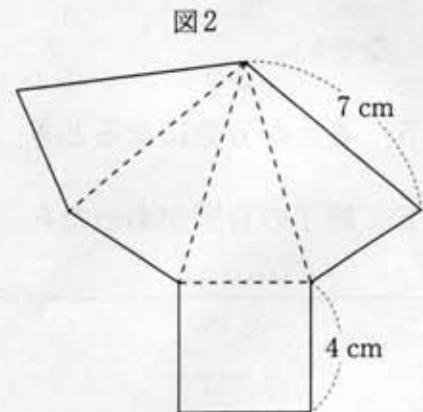
(カ) $\sqrt{\frac{2}{3}n}$ が1桁の自然数となるような、最も大きい自然数 n を求めなさい。

(キ) 右の図1において、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



(ク) 右の図2は、1辺の長さが4 cm の正方形を底面とし、
等しい辺の長さが7 cm の二等辺三角形を側面とする正
四角すいの展開図である。

このとき、この展開図を点線で折り曲げてできる正四
角すいの高さを求めなさい。



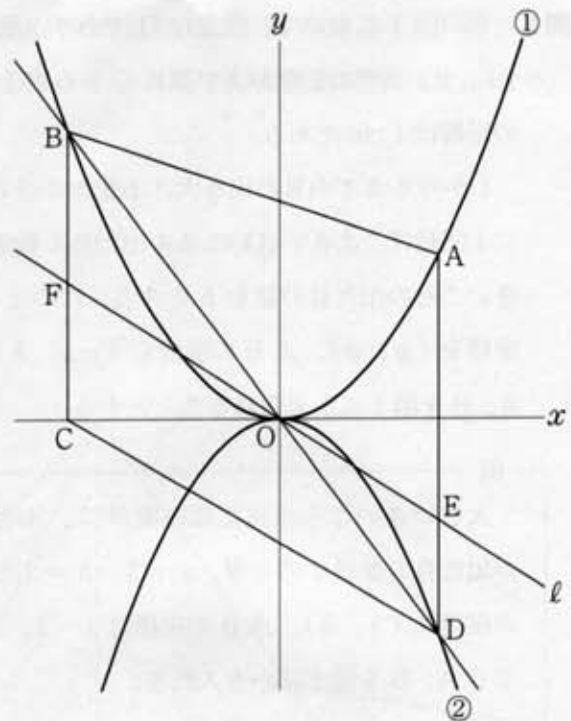
問2 右の図において、点Oは原点であり、曲線①は関数 $y = \frac{1}{3}x^2$ のグラフ、曲線②は関数 $y = ax^2$ のグラフである。ただし、 $a < 0$ とする。

2点A, Bはともに曲線①上の点で、点Aのx座標は3であり、点Bのx座標は-4である。

また、点Cはx軸上の点で、線分BCはy軸に平行である。

さらに、点Dは曲線②と直線OBとの交点で、線分ADはy軸に平行である。

このとき、次の問いに答えなさい。



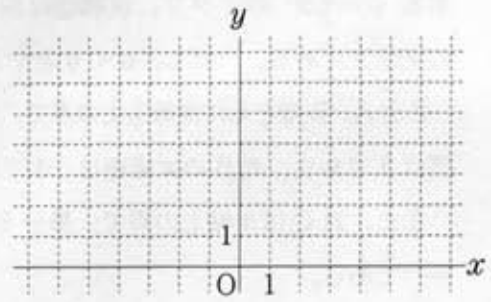
(ア) 曲線②の式 $y = ax^2$ の a の値を求めなさい。

(イ) 直線 l は、原点Oを通り、線分AD、線分BCとそれぞれ点E、点Fで交わっている。台形CDEFの面積が台形ABCDの面積の $\frac{3}{8}$ 倍のとき、直線 l の傾きを求めなさい。

問3 右の図1において、原点はOであり、原点Oから点(1, 0)までの距離および原点Oから点(0, 1)までの距離は1 cmである。

1から6までの目が出る大、小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数を a 、小さいさいころの出た目の数を b とする。このとき、点Aの座標を (a, a) 、点Bの座標を $(-b, b)$ とし、2点A, Bを図1にかき入れることとする。

図1

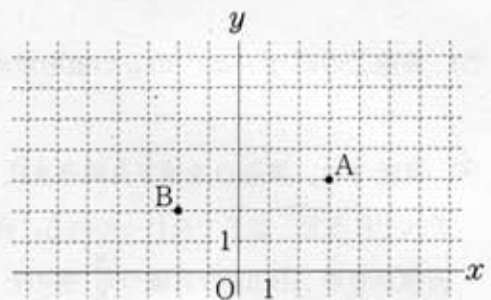


例

大きいさいころの出た目の数が3、小さいさいころの出た目の数が2のとき、 $a = 3$ 、 $b = 2$ だから、点Aの座標は $(3, 3)$ 、点Bの座標は $(-2, 2)$ となり、2点A, Bを図1にかき入れる。

この結果、図2のようになる。

図2



このとき、次の問いに答えなさい。

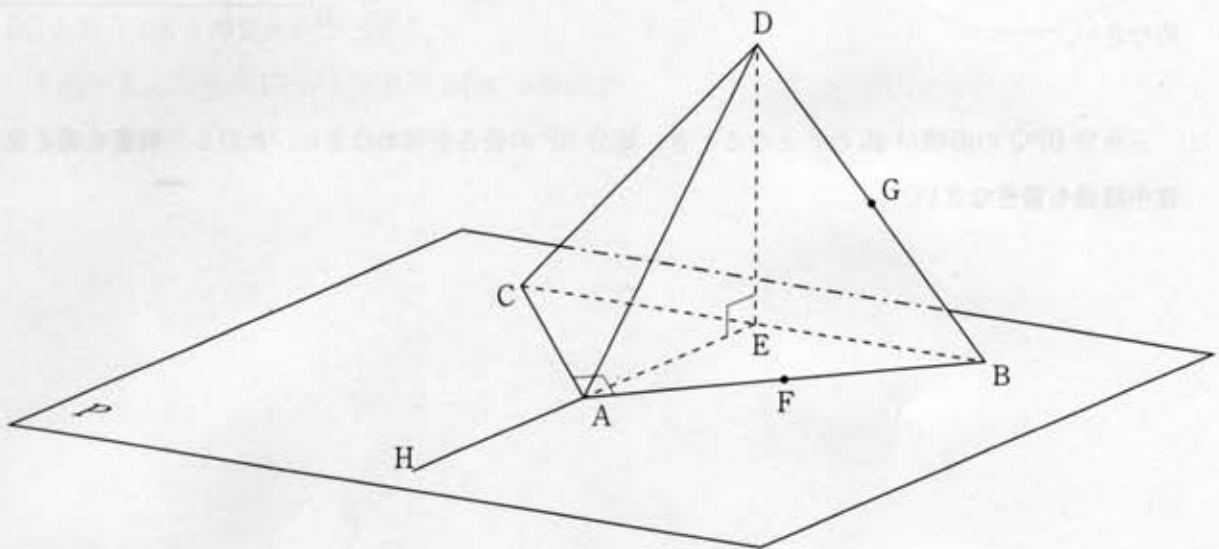
- (ア) 図1の状態、大、小2つのさいころを同時に1回投げ、大きいさいころの出た目の数が5、小さいさいころの出た目の数が3のとき、三角形OABの面積を求めなさい。
- (イ) 図1の状態、大、小2つのさいころを同時に1回投げるとき、三角形OABの面積が 16 cm^2 以上となる確率を求めなさい。ただし、大、小2つのさいころはともに、1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

問4 下の図のように、 $AB = AC = 4\text{ cm}$ 、 $\angle BAC = 90^\circ$ の直角二等辺三角形ABCを底面とし、点Dを頂点とする三角すいが、平面P上に置かれている。BD = CD = 4 cmであり、点Eは線分BCの中点で、 $\angle AED = 90^\circ$ である。

また、点Fは線分ABの中点であり、点Gは線分BDの中点である。

さらに、点Hは線分EAを点Aの方向に延ばした直線上の点で、 $EA = AH$ である。

このとき、あとの問いに答えなさい。



(ア) この三角すいにおいて、点Iは線分CD上を動く点である。

線分AIの長さ と 線分EIの長さの和が最も小さくなるとき、この2つの線分の長さの和を求めなさい。

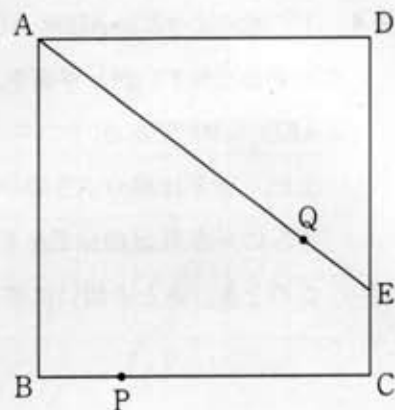
(イ) この三角すいにおいて、点Jは線分AC上を動く点であり、直線HJと線分BCとの交点をKとする。

点Jが線分ACの中点になるとき、三角形FGKの面積を求めなさい。

問5 右の図のような、1辺の長さが12 cmの正方形ABCDがあり、点Eは辺CD上の点で、 $DE = 9$ cmである。

点Pは辺BC上を動き、点Qは線分AE上を $BP = EQ$ となるように動く。

このとき、次の問いに答えなさい。



(ア) 線分PQが辺ABに平行になるとき、線分BPの長さを求めなさい。

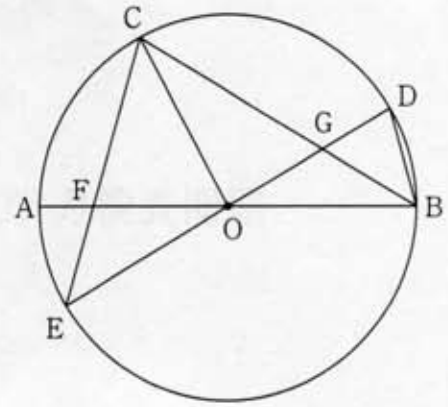
(イ) 三角形BPQの面積が 45 cm^2 となるときの、線分BPの長さを求めなさい。ただし、解答を導くまでの途中経過も書きなさい。

問6 右の図のように、線分 AB を直径とする円 O の周上に、2 点 A, B とは異なる点 C を $\angle AOC$ が鋭角となるようにとり、点 A をふくまない \widehat{BC} 上に点 D を $\angle BOD = \frac{1}{2} \angle AOC$ となるようにとる。

また、線分 DO の延長と円 O との交点で、点 D とは異なる点を E とする。

さらに、線分 AB と線分 CE との交点を F、線分 BC と線分 DE との交点を G とする。

このとき、三角形 CFO と三角形 BDG が相似であることを証明しなさい。



(問題は、これで終わりです。)